

発行所

真宗大谷派宗務所

代表者 木越 渉

編集／東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料

送料 1部1万円1,300円

(1,182円+税10%)※部数により変動

振替口座番号 01000-6-27404

加入者名 東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて
さまざまな行事の様子を
公開しています。



東本願寺NEWS

検索

どうぼうしんぶん

同朋新聞

Dōbō Shimbun

5

Vol. 810

May 2025

修学旅行生参拝案内

今月の写真



愛語

今月の法話 如是我聞

によがもん

九州教区 宇佐組 勝福寺

藤谷 純子(76)

昨年末、百寿を全うしてお浄土に還った姑から、いくつもの愛語を聞きました。

「今まではこうしてきたのよ」と教える姑に「これでも大丈夫ですよ」と答えるような嫁でしたが、晩年の姑は修正会※の後の座談会のたびに「私は今年も、坊守の留守番役に徹します」と言うのでした。その同じ言葉に、姑の自信と責任感が次第に感ぜられるようになりました。

介護の日々が始まった時も、「私はこうしてお世話になれてるけど、あんたたちは誰にお世話してもらえるかねえ」と私たちを案じてくれました。いつしか私を「お母さん」と呼んだりして、「老老介護、アベコベじゃわ。子どもの私がお母さんの介護をせんらんのに、お母さんにしてもらって、ごめんなさい」と繰り返して詫言ののでした。意識が濁っていった頃、「私は誰？」と姑に聞くと「私のお姑さん」と答えて、「長いことお世話になったね、泣かないでね。これが姑との最後の会話でした。潤んだ瞳で「泣かないでね」と言ったその言葉は、泣きそうもない私の涙を誘った愛語でした。

姑の愛語を聞かせていただき、道元禪師※の「愛語よく廻天の力あるを学すべきなり」との教えが蘇り、私たちに如来から贈られている愛語がお念仏なのだと知らされました。

真宗本廟では、5月9日(金)から6月6日(金の平日)に修学旅行生向けの参拝案内を実施します。参拝案内では、スタッフが東本願寺の歴史や仏教の教えも交えながら、御影堂、阿彌陀堂などの境内各所をそれぞれの滞在時間に応じてご案内します。参拝後にはオリジナル記念品を贈呈します。

(期間中実施しない日もあります。詳しくは下記サイト参照)



※修正会…正月に修する法会のこと。真宗の多くの寺院では元日から3日間または5日間勤められています。

※道元禪師…鎌倉時代初期の禅僧。日本における曹洞宗の開祖。

真宗本廟

開門・閉門時間

5:50～17:30

主な法要・行事

蓮如上人御影
御帰山式



Pick up

精進料理の昼食 (11:30～13:30)

大人4,000円 子ども1,000円

※参拝される4日前までにお申し込みください。

しんらん交流館

開館時間

9:00～17:00

休館日

毎週火曜日



Pick up

東本願寺文庫 (開室時間 9:00～16:30)

仏教・真宗を中心にさまざまな図書をご覧いただけます。
会員登録により貸出も行っています。

※登録手数料100円(要身分証) ※1人10冊2週間まで。

渉成園

開園時間

9:00～17:00

(受付は16:30まで)

庭園維持寄付金

大 人 700円以上
中高生 300円以上
小学生以下 無 料



今月の見どころ

木々の葉の色が美しく、
爽やかな新緑の
季節となります。

information
インフォ
真宗大谷派
ホームページ



令和6年能登半島地震で被害に遭われました被災者の方々に対し、衷心よりお見舞い申し上げます

この紙面では、さまざまな人をおして、現代社会の抱える課題や人間そのものについて考え、宗祖御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」の学びを深めていきたいと思います。

人間といういのちの相

すがた
連載



孤独とつながり〈前編〉

日本社会は、地縁や血縁で強くつながれていたムラ社会から、戦後、個人を尊重する社会へと変化してきました。しかし、個人が尊重されてきた一方で、孤独感に悩む人が増え、孤独に対する不安や恐れが増幅しているのではないのでしょうか。私たちは孤独や孤立とう向き合っていけばよいのでしょうか。社会学の立場から孤独や孤立について研究をされている石田光規さんのお話から人間の相を考えます。



インタビュー
石田 光規さん

1973年、神奈川県生まれ。早稲田大学文学学術院教授。東京都立大学大学院社会科学部研究科社会学専攻博士課程単位取得退学。博士(社会学)。著書に、『「人それぞれ」がさみしい——「やさしく・冷たい」人間関係を考える』(ちくまプリマー新書)などがある。

なぜ孤独が深まっていくなのか？

——石田さんが「孤独・孤立」について研究を始めた経緯やきっかけはなんだったのでしょうか。

私が「孤独・孤立」の研究を始めたのは、2005年頃で、携帯電話が爆発的に普及し、人々が独りになりやすくなったと感じた頃でした。

人と関わる必要が少なくなり、個人を中心とした社会がつくられる中で、いききすると、社会からあおられてしまう人が出てくるのではないか、個人を中心に考える社会にはどんな問題があるんだろう、と考えた末に行き着いたのが、孤独・孤立というテーマでした。

——個人中心の社会に変わってきたというのですが、私たちの人間関係のありようも変わってきたのでしょうか。

個人というものが大事になってきた背景はいくつかありますが、そもそも私たちが

ち日本の社会は、集団的であるといわれていました。その集団的な社会があまりよくないものであると考える機運が、第二次世界大戦が終わった頃から出てきたと思います。それは、集団的な体質が人を戦争に同化させたという議論があったからです。

しかし、いきなり個人単位の生活ができるわけではありません。私たちが、人と関わらず、個人で生活していける条件は二つあります。

一つ目は物が豊かになること。物的に豊かにならないと、いくら個人を尊重しようと言っても、人と一緒に生活できない場面は出てきます。例えば私が大学生だった1990年代は、それぞれ個人がパソコンを持っている時代ではありませんでした。だから、パソコンを使うためには、みんな大学の情報ルーム

に行く必要があった、必然的に人と会う機会が多かったのです。しかし、物的に豊かになってくると、人と物の貸し借りをする機会も減りますし、人と協働してやっていた作業もサービス業に頼めばいいやとなってしまうので、どんどん人と関わる必要が少なくなってきました。そういった傾向を高レベルで実現させたのが、1990年代の終わりです。

そしてもう一つは、個人と個人の考えを尊重しようという心理的な要因が揃うことです。これも、1990年代になると、個人の考えを尊重し、多様性を大事にしようという流れになりました。

結果、私たちは物的にも、心理的にも独りでいやすくなりました。しかし、個人を尊重することはいい部分もありますが、人の意見には口を出せない、個人の決めたことを見守るのみという流れができ、人をつながりの中に取り込むことも難しくなります。そうなるにつれて、ある程度主体的に、前向きな意識を持つ自分から誰かとつながろうとしなければ

ば、人とつながることがとても難しい状況になってしまいました。

——意識的に人とつながらないといけなくなる、そういったことが苦手な人も出てくるのではないのでしょうか。

そうですね。そして「コロナの流行を経て、さらにもう二つ段階が進んでしまったのかな」と感じています。

コロナ下では、人と会わないことが「協力」であるといわれました。そうだった時、私たちは今会うべき人はどういう人なのかと考えたわけですね。それは、裏を返すと会わなくてもいいつながりも同時に考えます。そんな中で大幅に少なくなったのが「懇親会」でした。懇親会がないということは、行く場所や、会える人がいっぱいいる人にとっては、懇親会に使っていた時間とお金を、自分の会いたい人や行きたい場所に費やすことができるので、それなりに都合がいいことです。また、とにかく人と接するのが嫌な人にとっても、懇親会がなくなったのは都合がいいことでした。しかし、人間はこの2タイプ

だけではなく、誘われたら行くという中間のタイプの人もありますよね。日本社会には、むしろそういう人が多いだろうと思います。そういった人にとっては、懇親会がなくなってしまうと、誰かと交流を持ちたい場合に自分から声をかけないと人と会う場がなくなります。しかし、その時に自分から声をかけられる人はそんなに多くなく、わざわざ人に声をかけて断られたり、気まずい思いをするぐらいだったら、一人でインターネットの動画を見たりすればそれなりに時間も過ぎるし、それでいいだろうなんて思う人が増えてきました。

——コロナ下では、お寺に集まって参りすることが避けられ、お葬式も親族だけということが増えました。何とか以前のようになかたちに戻したいと思っていますが、一度変わってしまったものを戻すことはなかなか難しく、みんなが集まる場がどんどん減ってきていると感じます。

お寺に関して言えば、葬儀のあり方も

人間関係が得意な人、苦手な人

——そういう中で、人間関係を自分から選ぶことができず、また選ばれることも難しくなり、孤立・孤独が深まっていくとおっしゃっていますね。

これは、自由に人間関係をつくることができる状況だと、自分にとってプラスになる人とだけ人間関係を築こうとする、合理的・功利的な発想になりがちだということです。

そうなる、自分で相手を選んでいける分にはいいのですが、相手からも選ばれなければいけないという意識が出てきますので、相手に選ばれるために、相手にとつて良いものを提示できる自分になろうとする。その中には、経済的なことであったり、外見であったりさまざまな要素があると思うんですね。逆に言えば、そういったいいものを持っていない人は、どんなにじかれ、排除されてしまいます。

——今までのようなムラ社会にしがらみを感じ、個人が尊重される社会が願われてきましたが、逆に今度は人間関係がうまくできる人と苦手な人、さらにそこから落ちこぼれてしまう人にわけられるようになってしまったのですね。そうですね、人間関係をうまく築ける人と築けない人がいるということ。そし

て、個人の単位で考える社会になったからといって、迷惑をかけてはいけないという考え方がなくなっていないことも、難しいところなのかなと思います。

日本の社会は、明らかに個人主義的になっていますが、その一方で人に迷惑をかけることについては規制が強い。コロナの時には、どんな環境にあつてもみんな必ずマスクをしていましたよね。これはアメリカやヨーロッパでは考えられないと言われていました。

基本的には個人として生き、個人を尊重しようという雰囲気ですが、それと同時に、周りの人に迷惑をかけない、人を非難しないということも強制されている。だから実はとても窮屈な気分、人に迷惑をかけないよう、人に人を傷つけないようにと気を配って生活しているんですね。

私が教えている大学生たちは、アルバイトをし、サークルにも入り、ゼミにも所属しているけど、なかなかそこでは本音を言えない。なぜなら、本音を言ってしまう



——何か見えないものに対して不安とおびえを持ちながら生活しているのですね。

特に現代のスマートフォンというのは、自分が人に受け入れられているかどうかを、はつきりと示すツールです。さまざまな機会、自分が友達の境界線の内側にいるかどうかを思い知らされてしまうんですね。

まず相手が電話番号や、SNSのIDを教えてくれない時点で、もう自分はその人の友達としての入り口にも立っていないことがはつきりします。

さらに、SNSのやりとりでも、誰が返信をしてくれたのかももちろん、自分が送ったメッセージに対して、どれぐらいの早さで返信してくれたのかまでわかります。そうすると、まあ、だいたい自分の優先順位はこれぐらいだろうとみないなら

「異質な他者」との出会いがなくなる

——「著書でも、スマートフォンのつながりの中で、自分と意見が合う人同士とは強く結びついていく半面、その結果、分断が激しくなるといふことをおっしゃっていますね。

スマートフォンが登場したことによる大きな変化は、検索することができるようになったということです。

ですから、自分の会いたい人や、自分と意見の一致する人とじかに結びつくことができるようになった。その一方で、他の意見を見を全部排除することもできるようになったわけですね。

これは非常に大きなことで、かつては、興味関心の合う人と出会うためには、そういう人がいるような場所に行き、自己紹介をし、話をする中で、興味関心の合う人を見つけたといった手順が必要でした。しかし、今は「〇〇が好き」などと検索すれば、簡単につながることができるようになったわけです。

しかし、そうすると、それ以外の興味がない話は全部排除されてしまいますよね。その中で、考え方の違う人とはどんな

どんな会わなくなるし、会う必要もなくなる。そういったことに慣れてしまうと、他の意見を聞くことが、だんだん苦手になっていくのでしょうか。

——「著書の中では「異質な他者」とおっしゃっていますが、そういった「異質な他者」との出会いがなくなるといふことでしょうか。

そうですね。そういったことを意識して、わざわざそういった場に足を運んで、異質な人とも話をしようという意識を持たない限り、どんどん異質な人と出会う機会がなくなっていくし、そういった意見に触れる機会もなくなっていくますよね。

——同じ意見や考え方が結びつき、「異質な他者」と出会わなくなるとも孤独や孤立を生み出しているのかもしれないですね。

※次号も引き続き石田光規さんにお話を伺います。

通信員リレーリポート

第258回
いまを生きる

真宗の教えをとoshie
広がる出遇い

東北教区 青森県第1組
最勝寺門徒
荒谷 正裕さん(77歳)



日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会を紹介します。



教区の皆さんと

青森県の西部地域は昔から津軽と呼ばれ、平成の大合併により「つがる市」が誕生した。このつがる市にある最勝寺の責任役員である荒谷正裕さんは、教区や組の活動にも携わってこられ、現在、東北選挙区選出の※参議会議員も務めている。

荒谷さんのお宅は代々最勝寺の総代を務めており、荒谷さん自身も定年退職後に最勝寺の総代を務めることになったが、それまでは葬儀や法事以外でお寺に足を運ぶことは少なかったそうだ。しかし、総代就任後、お寺の行事に参加した際、受付をしていたご門徒の方があまりに忙しそうにしていたので、見るに見かねて行事中にお手伝いをするようになった。それがきっかけとなって、お寺やご門徒の方々と触れ合う機会が多くなつていき、真宗の教えに関心を抱くようになっていった。特に他力本願の教えは奥が深いと感じたそうだ。

住職からの推薦もあり、推進員や門徒会などにも参加するようになり、活動の幅が徐々に広がっていった。

た。ある時、参議会議員が退任され、その後任に推挙された。本山での役務に徐々に慣れていくと思っていた荒谷さんだったが、初年度から参議会で質問することになった。それまでも『同朋新聞』を読まれており、身近な存在であったため、『同朋新聞』の配布方法や発行部数についてお尋ねしたとのこと。宗務総長や参務の前で質問するのは大変緊張されたそうだ。

荒谷さんへの取材で印象に残ったのは、人との出遇いが、今の自分の財産であるというれしように話されていたことだ。「お寺や組の集まりに参加するようになり、ともに聞法する人や講師の方との出遇いがあつた。そして、参議会議員に就任し、本山に出向くようになってからは、他教区の方々とも交流が広がった。まさか60歳を過ぎてから交友関係が広がるとは思っていなかったが、今では顔見知りの仲間と一緒に聞法したり、お斎をいただきながら語り合う時間が楽しみだ」と語る。また、「こうして元気に活動できるのは妻のおかげ」と生活を日々支えてもらっていることにも感謝の言葉を述べていた。

多くのご縁によつて私たちは成り立っているが、その大切さを普段忘れながら生活していることを、荒谷さんの姿勢からあらためて気づかされた。

※参議会：本派の最高議決機関である宗会(宗議会)と参議会で構成され、参議会は門徒により構成されている。

東北教区通信員

光井 広顕



お寺の掲示板

第21回

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。



ふくぜん じ 福善寺(京都教区 近江第25西組)
滋賀県高島市マキノ町海津2322
ふじはらかずひで 住職 藤原 一英

兵戈無用

佛説無量壽經

あつているのだと伝えようとしてくれた、当時の叔父の思いが理解できます。現在も世界中で争いによりたくさんの方が犠牲になっていますが、殺戮が正当化される正義はありません。あらためて平和な世を念じ書かせていただきました。

※兵戈無用 軍隊も武器もいらない、という意味。「不殺生」「殺すなかれ」との釈尊の基本思想を背景とする。

滋賀県にある琵琶湖の北西に位置し、水運で栄えたマキノ町海津の街道沿いに二重門の山門が立つ。その門の脇に掲げられている、しなやかな毛筆で書かれた法語が目を引き。法語を考え、筆を執るのは一英住職。その都度御教えに出遇い、日々のあり方を見つめ、心がひらかれるという。

「門前を通る門徒さんや地域の方から、言葉の意味を尋ねられたり、法語を写真に収めておられる姿を見かけたりした時はうれいすね」とほほ笑む姿に一英住職の人物が表われていた。

また、「立ち止まって見てくださる方が一人でもいらつしやれば幸いですし、言葉にたずねてもらえたらなおよしです」と、門徒さんや地域の方が問いをもつて聴聞くださればと願われている。

これからも法語を通じて一人ひとりとご縁を紡ぎ、お寺が地域に開かれた場であり続けたいと願う住職の思いに、共感しつつお寺を後にした。

京都教区通信員

堅田 一葉

永田文昌堂

ラジオ法話 佛説阿彌陀經

土岐慶正著 定価2750円(税込)

極楽の光景や阿彌陀仏の加威力を、広く深く分かりやすく読み解いた好評のラジオ法話を、完全収録。「阿彌陀經」を理解する決定版として、初心者の方にもおすすめしたい一冊。

〒600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031

最新刊

値遇のこころ

川添泰信著 定価1100円(税込)

本願寺の新報、または小冊子や、大学における法話集の標語の解説などをもとめた法話集。主な内容として、お辞儀と礼拝／握手と合掌／「僧越」と「ジョーク」／蜘蛛の糸／安穩の未来／浄土真宗のお彼岸／この世にて／など。

東西本願寺120のちがいがい 鎌田宗雲著 定価3300円(税込)

主に前半は、東西本願寺の組織・寺紋・莊嚴・勅式・作法など二〇項目のちがいを紹介する。後半は、歴史的な視点も踏まえて東西本願寺のちがいに着目し、主にお東願動に關して時系列で振り返りながら解説する。

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念
紅地天人之図総手刺繍御打敷謹納

〒600-8159 京都市下京区烏丸通東本願寺前
TEL フリーダイヤル 0120-07-6391
FAX フリーダイヤル 0120-34-2816
https://shibata-houiten.com/
(Webカタログ掲載・商品動画配信可)

真宗大谷派 東本願寺御用達 京法衣事業協同組合加盟店

株式会社 柴田法衣店

東本願寺御用達
日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075)351-6325
フリー-FAX 0120-89-5255
定休日：日曜日

ひかり

七高僧と聖徳太子

第17回



親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)。そして「和国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょうか。本号では「正信偈」をとおして、道綽の教えを振り返ります。

道綽禪師

四

道綽決聖道難証
唯明淨土可通入
万善自力貶勤修
円満徳号勸専称
三不三信誨慇懃
像末法滅同悲引
一生造惡値弘誓
至安養界証妙果

【「正信偈」真宗大谷派勤行集(赤本)】
二四～二五頁

道綽禪師が示したこと

道綽禪師は、廃仏という困難な時期を乗り越えて仏教を伝えました。その上で、仏教の正統とされてきた聖道門ではさとりを得ることが難しいことを示しました。それは、時代が末法だからです。末法の世では、聖道門ではなく、浄土門だけがさとりに通じるのだと道綽禪師は明らかにしました。浄土門とは、お念仏を称えるという実践法門です。しかし、私たちは、「〇〇だけ」と言われても、それだけでいいのだろうかと不安になります。むしろ、良さそうな何か他のものをいろいろと取り入れたくなります。ましてや、自分の努力が反映されるものならば、さらに安心でしょう。そうこうして、気がつかないうちに、何が大切なのかわからなくなってしまうのです。

このような私たちの信心の在り方を、道綽禪師が帰依した曇鸞大師は「三不信」であると既に指摘していました。三不信とは、自力の行が抱えている問題を三つに分けて解説したものです。

一つ目は、「不淳」です。在るようで無いような、純粹ではない信心のことです。
二つ目は、「不」です。不淳であるということとは、さまざまなもの混ざっているということです。

三つ目は、「不相続」です。心が不だとか々と別のことが浮かんできます。これでは持続した信心をもつことはできません。

曇鸞大師のこれらの指摘を受けて、道綽禪師はこの問題は極めて重要であると気づきました。そして、『安樂集』という著作の中で、「三不信」に対して「三信」ということをあらためて丁寧に解説したのです。これは、純粹な信心(淳心)、混ざりものが無い信心(一心)、持続する信心(相続心)のことです。この三信によって、どのような時代状況であつても一生のあいだ悪を造つていかざるを得なくとも、浄土に至つてさとりをひらくことができることを示しました。それは、阿弥陀仏の誓願に出遇うという仏道でした。

曇鸞大師による三不信という問題提起を受けて、道綽禪師は、むしろそれを末法の中で三信というひかりを見出すきっかけとしたのです。そのひかりは、親鸞聖人まで届いたのです。親鸞聖人もまた自らが生きる時代を末法と捉えていました。親鸞聖人が、法然上人のもとで学んでおられた頃に、道綽禪師から二字を取って「綽空」と名のついていたのは、その表れなのでしょう。



わき み あきら
采翠 晃
大谷大学文学部
仏教学科教授
京都教区近江第25西組
長光寺住職

次回からは、
善導大師について
たずねていきます。

真宗大谷派（東本願寺） 仏事サポートセンター福岡

「真宗大谷派（東本願寺）仏事サポートセンター福岡」は、真宗大谷派における福岡都市圏の教化の推進拠点として2021年5月に開設され、これまで賃貸物件にて業務を行ってまいりましたが、このたび、九州教区が福岡市中央区今川の地に、仏間・会議室を備えた3階建ての新たなセンターを建設しました。

郷里を離れ福岡都市圏に在住するご門徒とふるさとの寺院との「ご縁」をつなぐ取り組みを行う他、新たなご門徒の誕生を願った施策の実施等、九州教区の寺院の方々と連携・協力しながら取り組みを進めています。

この取り組みが、ご門徒と寺院とのご縁をつなぐきっかけとなり、さらには「真宗の教え」が次世代へ手渡されることにつながっていくことを願っています。



1階仏間



2階事務所



3階会議室

仏事サポートセンター福岡の変遷

2020年7月	九州教区誕生。九州教務所内に「福岡教務支所準備事務室」を設置。
2020年9月	福岡市中央区天神に「福岡教務支所準備事務室」を移転。
2021年5月	福岡市中央区六本松に「東本願寺 仏事サポートセンター福岡」を設置。
2025年1月	福岡市中央区今川に「真宗大谷派（東本願寺）仏事サポートセンター福岡」を建設・設置。中央区六本松より移転。

仏事サポート センター福岡への

声

寺院

丁 寧な儀式執行と対応はもちろんですが、葬儀後は、門徒さんを当寺へしっかりとつないでくださいました。仏事代行制度のおかげで遠方の門徒さんにご縁が続くのでとてもありがたいです。ぜひ、仏事サポートセンターという取り組みを福岡のみならず全国に広げていただきたいです。

利用者

所 属寺が遠方であり、どなたに通夜・葬儀を勤めていただくか困っていたので大変助かりました。葬儀後の中陰や法事のことも相談しやすいですし、建物もきれいで気持ちよくお勤めできます。不安なこともなく、とても助かっています。

仏具店

仏 具店では、所属のお寺がはっきりされないお客様から、仏事に関して尋ねられることがあります。その際、サポートセンターにご相談すると、とても丁寧に対応いただけることはもちろん、職員の方が来店され相談にのっていただくこともあります。私たちにとって欠かすことのできないパートナーだと感じています。

お

世話になるお寺がないまま、突然の葬儀を迎えた時は、どのように別れの場を迎えればよいのか、とても心配しました。しかし、サポートセンターのおかげで通夜・葬儀、そしてその後のご法事も安心して迎えることができました。その後、お世話になるお寺探しにもご協力いただきました。

所

属寺が遠いため、法話を聞くことができる場所が近所にできてとてもうれしいです。

仏事サポートセンター福岡の取り組みについて

仏事相談

さまざまな仏事に関するお悩みにお応えします。

「通夜・葬儀」「法事」をはじめとする“仏事”についてサポートいたします。皆さんの仏事のお困りごとのご相談に応じます。

仏事相談の詳細についてはこちら



仏事代行制度

郷里のお寺に代わってさまざまな仏事（通夜・葬儀・法事等）を代行します。

「福岡都市圏に住むご門徒とふるさとのお寺とのご縁をつなぐ」ことを目的として、急なご葬儀やご法事を所属寺に代わり、仏事サポートセンター福岡の法務員が仏事を執行します。また、葬儀や法事以外にも入仏式等も承ります。

仏事代行対象地域

福岡都市圏
北九州都市圏の一部

仏事代行制度の詳細についてはこちら



さまざまな法話会の開催

仏教・真宗の学びのお手伝いをします。

「所属寺を離れたご門徒方の新たな学びの場」、そして「新たなご門徒の誕生」を願い、各種講座を開講しています。

特にはじめて仏教・真宗とのご縁をもつ方は、その学びが継続できるよう、各種講座への参加奨励はもちろんのこと、お住まいに近いお寺を紹介させていただき、お念仏の僧伽に加わり、教えを学ぶご縁を生涯にわたり大切にできるようサポートさせていただきます。

はじめて仏教を学ぶ方々へ

仏教入門講座

会場）福岡市内施設

WEB配信有

身近なお聖教を学びたい方々へ

福岡都市圏親鸞講座

会場）仏事サポートセンター福岡

WEB配信有

サポートセンター近隣にお住まいの方々へ

定例法話会

会場）仏事サポートセンター福岡

各種講座の最新情報はこちら



ふるさとのお寺とのご縁をつなぐ

真宗大谷派（東本願寺）

仏事サポートセンター福岡

福岡県福岡市中央区今川1-9-7

お問合せ先

092-734-0208

受付時間：7時～21時



HPはこちら

ご葬儀・ご法事のご相談承ります。仏事に関するご相談は「真宗大谷派（東本願寺）仏事サポートセンター（福岡）」まで

お東さんガイド

4月1日から5日まで、真宗本廟(東本願寺)で「春の法要」が勤修された。本年は3日から5日に闍如上人三十三回忌法要が勤まり、5日間でおよそ8,700人が参拝した。

1日は午前阿弥陀堂にて、七高僧や聖徳太子をはじめ、本願念仏の教えを伝えた先師を讃える「師徳奉讃法要」があった。午後からは御影堂にて、青木玲氏(九州大谷短期大学准教授)より「教えを聞く」という講題で記念講演が行われた。青木氏は、「普通」とは何かという問いから、「自分は正しい」という考えを握りしめている人間の在り方について話された。

その後、「親鸞聖人御誕生会(音楽法要)」が勤まり、真宗大谷派合唱連盟の方々と関係学校の学生などの美しい歌声が御影堂に響いた。

2日午前の「全戦没者追弔法会」は、テーマ「念仏者の平和運動―戦争の抑止とは何か―」のもと勤まった。原田小鈴氏(長崎大学非常勤講師)による「追弔の偈」(作詞・高史明)の朗読、法要に引き続き、ダニー・ネフセタイ氏(木製家具作家・元イスラエル軍兵士)による記念講演が行われた。ネフセタイ氏は、「戦争で殺す相手は“敵”ではなく同じ“人間”」であること、「何より大切なのは人権、幸せに生きる権利」であることを訴えた。



対談



師徳奉讃法要

午後からは、しんらん交流館において原田氏による「被爆80年 いま私たちの伝える～世代を超えて語り継がれる原爆・平和～」を講題とした講演、そしてネフセタイ氏と原田氏の対談が行われた。

3日は午前、「相続講員物故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会」が勤まり、同日午後から5日にかけて、闍如上人三十三回忌法要が勤まった。

東本願寺第24代である闍如上人は、1903年10月に、第23代彰如上人の長男として出生。1949年に蓮如上人

四百五十回忌法要、1961年に宗祖親鸞聖人七百回御遠忌を勤め、1993年に89歳で示寂。今年で三十三回忌を迎えた。

涉成園では、「春の涉成園と粥膳」が行われ、お仏供のおさがりで作られた菜の花粥をメインとした粥膳がふるまわれた。また、昨年に引き続き、和舟に乗り、江戸時代に行われていた「おもてなし」の一端を体験できる「おもてなしの舟旅」が行われた。

その他境内では、真宗大谷派教誨師・篤志面接委員会が企画した催事や、御影堂門楼上(国指定重要文化財)の一般公開が行われた。御影堂門楼上に上った参拝者からは、「普段見られない景色にわくわくした」「釈迦三尊像を間近で見ることができて貴重な体験だった」と非日常のひと時を楽しむ声が寄せられた。

レポート

「京の冬の旅」宮御殿・桜下亭を特別公開

1月10日から3月18日まで、京都市と京都市観光協会が主催し、毎年冬に開催されるキャンペーン「京の冬の旅」に東本願寺が協力し、今回は、宮御殿・桜下亭の特別公開及び、僧侶の案内による東本願寺諸殿特別拝観を実施した。

宮御殿・桜下亭の特別公開には、期間中約13,000人が訪れた。特に、桜下亭はほとんど一般公開される機会のない建物であるため、建物内にある円山応挙筆の襖絵(稚松・壮竹・老梅)の見学を目当てに来場する方々の姿が多く見られた。

また、「僧侶がご案内する特別拝観」として、毎週金曜・土曜の1日2回、事前予約制の諸殿拝観も実施。僧侶である宗派職員が阿弥陀堂、御影堂、宮御殿、桜下亭、能舞台を案内するという内容で、連日予約は満員となり、期間中約1,000人の参加があった。

今年は開催初日から降雪があり、期間中は寒さの厳しくなる日が続いたが、宮御殿から見える雪景色に喜ぶ参加者の姿も見られ、「寒かったが来てよかった」「僧侶の案内で詳しく東本願寺のことを知れた」などの感想が聞かれた。



僧侶の案内による諸殿特別拝観

東日本大震災「勿忘の鐘」-2025.3.11

「勿忘の鐘 特設サイト」はこちら



東北教区東日本大震災復興本部では、毎年「震災を心に刻み、犠牲者を悼み、今後も復興と支援の思いをつなげていきたい」という願いのもと、各地で同

時刻(3月11日午後2時46分)に鐘を撞き法要を勤める呼び掛けが続いている。この「勿忘の鐘」の衆会は、津波により被災した陸前高田市の気仙組本稱寺が、瓦礫の中から掘り出した鐘を「勿忘の鐘」と名付け、被災した地で鐘を撞いたことから始められ、今日に至っている。

今年で東日本大震災から14年が経過したが、震災以降も世界中で毎年のように風水害や大きな地震が発生している。このような状況の中にあって、全国各地で東日本大震災だけでなく、これら

災害の被害に遭われたすべての方々に思いを寄せる「勿忘の鐘」の法要が勤まった。

なお、気仙組本稱寺での法要の様子は「勿忘の鐘」特設サイトからインターネットによるライブ配信が行われ、現在も特設サイトから視聴できる。



お知らせ

1963年に発生した「狭山事件」に関して無実を訴えてこられた石川一雄さんが3月11日に逝去したことを受けて宗務総長のコメントを発表しました。

コメントの全文を宗派ホームページに公開しています。



小松大聖寺教区 参議会議員補欠選挙

あめのいちろう 飴野一郎参議会議員の逝去に伴う補欠選挙の結果、吉見一秀氏(小松大聖寺教区第2組本光寺門徒)が当選。

読者のお便り 毎月の楽しみ

新潟県糸魚川市
松野 昌美(63歳)

以前から地域のお世話係の方が『同朋新聞』を配ってくださっていましたが、興味を持って読み始めたのは自分の両親が亡くなってからでした。今では毎月いただくのが楽しみで、いつも隅々まで目をとめています。何から何まで知らないことばかりなので、毎号勉強になります。

2月号の特集「蓮如上人御影道中」は興味深かったです。昨年10月、両親の納骨のため東本願寺に行った際に参拝接待所ギャラリーにて蓮如上人の御影を乗せる「御輿」を見てきました。その時はよくわからなかったのですが、記事を読んで深く理解することができました。一緒に

行った妹たちに記事の写真を送って思い出に浸ったり、「道中の様子はこんな感じかな」と思い浮かべたりしながら楽しみました。

次号はなにが載っているかな…と想像しながら心待ちにしています。

お便り募集 『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先 Eメール/shuppan@higashihonganji.or.jp FAX/075-371-9211
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版『同朋新聞編集係』

◆住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。
紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 Tel.075-343-0458 Fax.075-371-0458



法藏館

https://pub.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp 新刊メール配信中!
お買上16,500円(税込)以上送料無料で 表示価格はすべて税込

現代の聖典
蓮如 五帖御文
細川行信・村上宗博・足立幸子 著
三、三〇〇円

現代の聖典
蓮如上人御一代記聞書
細川行信・村上宗博・足立幸子 著
三、五二〇円

蓮如の生涯
東澤真静 著
六六〇円

蓮如上人ご旧蹟ガイド
真宗大谷派京都教区 編
三六六円

蓮如上人御影道中特集
現代の課題に問われつつ
「蓮如上人御影道中」を歩く
川島弘之 著
一、三〇〇円

蓮如上人御影道中
三木 英 著
二、四二〇円

国際理解には 宗教がほぼ半分
外国ルーツの隣人を知るために
三木 英 著
二、四二〇円

全編解説 浄土論註
社会環境による苦悩解決への道
菱木政晴 著
一、三〇〇円

仏教・イスラーム・キリスト教
祈りと思想の共鳴
嵩満也・佐野東生 著
四、四〇〇円

「新刊」
大乗仏教が 妙好人の世界
菊藤明道 著
四、九五〇円

「教行信証」全訳と註釈 上巻
親鸞の主著「教行信証」を原文に即して現代語訳し、さらに引用文の原典をも校合して独自の註釈を施した、親鸞思想に肉薄する意欲作。
長野量一 著
三、三〇〇円

妙好人を世界に知らしめた鈴木大拙をはじめ、柳宗悦・楠恭氏などの妙好人研究の軌跡を辿り、その霊性的世界と今日の意義を問う。

ご案内

真宗本廟

開門・閉門時間／3月～10月:5時50分～17時30分
11月～2月:6時20分～16時30分

晨朝(おあさじ)

【場所】阿弥陀堂及び御影堂
【時間】毎日7時～

晨朝法話

【場所】御影堂
【時間】毎日7時30分頃～

真宗本廟法話

【場所】視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間
【時間】通常 10時10分～／13時10分～
速夜日(12・27日) 13時10分～
御命日(28日) 9時30分～ ※その他、時間・会場を
変更する場合があります。

参拝接待所ギャラリー

【時間】9時～16時
「非戦と平等の源流をたずねて」(5月8日～6月26日)
「親鸞聖人のご生涯」(常設展)

詳しくは →

東本願寺

検索



しんらん交流館

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、
ぜひお立ち寄りください。
開館時間／9時～17時
休館日／毎週火曜日、5月3～5日

5月の定例法話

【日時】毎日14時～(12日は10時～)
※休館日は休会。その他、都合により
休会する場合があります。

5月の東本願寺日曜講演

【時間】9時30分～11時
【講師】5月11日 相馬 豊氏
(金沢教区道因寺住職・修練道場長)
5月18日 花園 彰氏
(東京教区圓照寺前住職)
※5月4・25日は休会。

詳しくは →

浄土真宗ドットインフォ

検索



2025年

真宗本廟奉仕に
参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機にぜひ帰敬式を受式ください

真宗本廟中学生・高校生奉仕団

8月7日(木)～9日(土)

【講師】金石 潤導氏(北海道教区開正寺住職) 【定員】30人
【対象】中学1年生から高校3年生まで
【参加費】中学生9,000円／高校生13,500円、米2kg(1升4合)
または米代1,300円

真宗本廟報恩講奉仕団

2泊

11月20日(木)～22日(土)
11月24日(月)～26日(水)
11月27日(木)～29日(土)

1泊

11月20日(木)～21日(金)
11月24日(月)～25日(火)
11月27日(木)～28日(金)

真宗本廟報恩講の法要参拝を日程の中心とした奉仕団です。

【抽選申込受付期間】5月8日(木)～15日(木)
※電話受付は各日9時から17時まで。定員を超えた期間については抽選となります。
【参加費】〈2泊3日〉18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
〈1泊2日〉13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。

※申込締切は各入館日の40日前です。

お申し込み・
お問い合わせ同朋会館・研修部
TEL:075-371-9185入館中は仲間や
他団体の方々とカフェ
(無料)でほっこり♪

救援金を勧募しています



宗派では、「令和6年能登半島地震」
に対する救援金を勧募しています。
皆さまからの温かいご支援をお願い
申し上げます。

救援金口座

郵便振替口座番号
00920-3-203053

加入者名

真宗大谷派

※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

救援金総額

246,564,069円
(2025年4月3日現在)今月号の『同朋新聞』を読んで、
クロスワードパズルを完成させよう!

プレゼント付

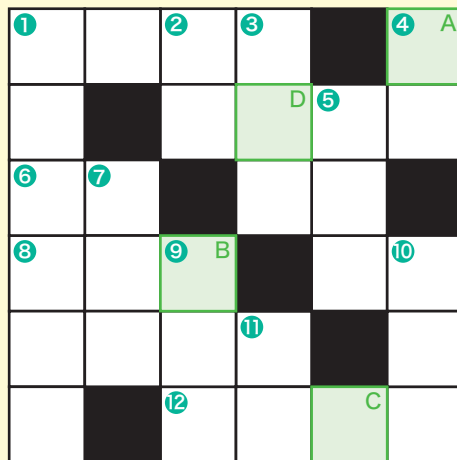
タテのカギ

- 「現在を生きる」今月のタイトルは「真宗の教えを〇〇〇〇〇〇がる出遇い」です。(4面)
- 修学旅行生向けの参拝案内は、参拝後にオリジン〇〇記念品を贈呈します。(1面)
- 「ひかりを伝えたい」と聖徳太子は「和国の教主」と仰〇〇〇した。(5面)
- 仏事〇〇ートセンター福岡の取り組みが、「真宗の教え」が次世代へ手渡されることにつながっていくことを願っています。(6面)
- 「ご案内」参拝接待所ギャラリーでは、5月8日から6月26日まで「〇〇〇と平等の源流をたずねて」を開催します。(8面)
- 「春の法要」で記念講演を行ったダニー・ネフセタイ氏は木製家具作家であり、も〇〇〇ラエル軍兵士です。(7面)
- 石田光規さんの著書に、『「人それぞれ」がさ〇〇〇―「やさしく・冷たい」人間関係を考える』(ちくまプリマー新書)などがあります。(2・3面)
- 「忘勿の鐘」として3月11日午後2時46分に鐘を撞き法要を勤める呼〇〇〇を続けています。(7面)
- 「ご案内」真宗本廟報恩講奉仕団は、真宗本廟法報恩講の法要参拝を日程の中心と〇〇奉仕団です。(8面)

ヨコのカギ

- 「人間というのちの相」今月のタイトルは「孤独〇〇〇〇り(前編)」です。(2・3面)
- 「ひかりを伝えたい」と親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところまで届けてくださった〇〇して、生涯大切に仰がれた方々がいます。(5面)
- 月刊『同朋』5月号の特集は「私にとっ〇〇〇のある哲学」です。(8面)
- 「しんらん交流館」東本願寺文庫では仏教・真宗を中心にさまざまな図書をご覧〇〇〇〇ます。(1面)

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、
クロスワードパズルを完成させましょう! 5月号の
『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!



3月号のクロスワードパズルの答えは、

もくねん

答え



※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

編集室だより

◆修学旅行で東本願寺を訪れた学生を対象とした参拝案内を、5月9日から6月6日まで実施します(1面)。私も中学生の頃、修学旅行で京都を訪れ、さまざまなお寺などを巡ったことを懐かしく思い出しました。その時はただ建物を眺めて満足していましたが、このようにスタッフの方に直接案内してもらえたらより楽しめただろうなと、少しうらやましく思います。お子様、お孫様が京都へ修学旅行に行かれる際にはぜひご紹介ください。

◆東本願寺の境内の北側には、「しんらん交流館」という建物があります。1階にはギャラリースペースがあり、その時々に取り上げられている展示をお楽しみいただけたら、その奥にある「東本願寺文庫」では、真宗に関する本をお読みいただけたらします。お気軽にお立ち寄りいただけますので、ぜひお越しいただけますと幸いです。(古賀)

読者のこえ

2月号を
読んで

◆「縁 -お寺の掲示板-」を楽しみにしています。市内のお寺の掲示板を自転車に乗って見に行き、気に入った言葉があれば書き写しています。(滋賀県70代)

◆クロスワードパズルが楽しみで、お手次寺の住職が毎月、月参りの時に新聞をもってきてくださるのが待ち遠しいです。(北海道80代)

正解者の中から抽選で3名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」、2名様に月刊『同朋』をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の締め切りは6月10日(火)(当日消印有効)です。

〈ご注意〉◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報はプレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」や「読者のこえ」に掲載する場合があります。◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

宛先

〒600-8505
京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版
「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます!

はがきと同様に必ず左記①②③を記入し、
「件名」に「同朋新聞5月号クロスワード応募」
と入力の上、higashihonganjishuppan
@gmail.comへお送りください。

応募は
コチラ5/1～5/31
カプセルトイ
キャンペーンイラストで知ろう!
東本願寺

かたおか 朋子 イラスト
A5判 112頁
定価:660円(税込)

東本願寺お買い物広場にカプセルトイが設置されたことを記念して、
東本願寺出版ホームページより、「イラストで知ろう! 東本願寺」「仏教
ゆかりの生きもの図鑑」を同時購入いただいた方へ抽選で15名様に
傘の取り間違い防止に最適なアンブレラマーカーをプレゼントします。
(全5種のうち1つ) ※当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

仏教ゆかりの
生きもの図鑑

福田 琢 著／大島 加奈子 絵
B5変形判 80頁
定価:1,210円(税込)

仏教がみちびく、
あらたな人生特集
私にとって
意味のある
哲学

月刊『同朋』5月号

A4判・オールカラー 60頁
定価:400円(税込・送料別)
年間購読:4,200円(税込・送料込)



真宗聖典

第二版



大判 定価 4,950円(税込)
小判 定価 4,400円(税込)

ご注文・お問い合わせは



TEL 075-371-9189

FAX 075-371-9211

詳しい書籍情報は

東本願寺出版

検索



東本願寺ホームページで『同朋新聞』がお読みいただけます

同朋新聞

検索